

令和7年11月17日

国立大学法人群馬大学
学長 石崎 泰樹 殿

群馬大学医学部附属病院監査委員会

令和7年度第1回国立大学法人群馬大学医学部附属病院監査委員会の結果報告について

国立大学法人群馬大学医学部附属病院監査委員会規程第2条に基づき、下記のとおり監査を実施しましたので報告します。

I. 監査の時期

令和7年10月22日（水）15：10～17：20

II. 監査の会場

群馬大学医学部共用施設棟2階 病院大会議室

III. 監査の方法

管理者及び医療安全管理責任者等からの説明聴取及び資料閲覧等の方法により、監査を実施した。

IV. 監査委員

委員長 相馬 孝博

副委員長 神谷 恵子

委員 大山 良雄

委員 天野 慎介（委任）

委員 中島 高志（委任）

V. 監査事項

以下の事項について、病院からの説明及び資料提示を受け、確認を行った。

- 1 前回の提言に対する対応状況
- 2 医療安全に係る業務の状況について
 - （1）令和6年度医療監視における自己評価表
 - （2）令和7年度医療業務安全管理委員会議事録
 - （3）令和7年度安全指標モニタリング
 - （4）医療事故調査報告書
- 3 医療の質・安全管理部の活動について
医療安全週間の取組について
- 4 ロンドンプロトコル第2版

VI. 病院説明要約

- 1 前回の提言に対する対応状況
患者参加型医療推進に向けたアンケート、患者ご意見箱、カルテ共有について説明
- 2 医療安全に係る業務の状況について
 - (1) 令和6年度医療監視における自己評価表
毎年行われている厚生局の立入調査で提出している自己評価表について説明
 - (2) 令和7年度医療業務安全管理委員会議事録
毎月1回開催されている医療業務安全管理委員会の議題等について説明
 - (3) 令和7年度安全指標モニタリング
インシデントの報告月別数等安全指標モニタリングについて説明
 - (4) 医療事故調査報告書
医療事故調査・支援センターに報告した医療事故調査報告書について説明
- 3 医療の質・安全管理部の活動について
医療安全週間の取組について
・医療安全講演会、患者参加型アンケート、医療安全ポスター・標語、誓いの集い
- 4 ロンドンプロトコル第2版
臨床インシデントのシステム分析

VII. 監査の講評・意見

群馬大学医学部附属病院における、医療安全に係る業務の状況について、各責任者から報告を受けた結果、その業務が概ね適切に行われているものと認める。

患者の声を十分に聴くアンケート調査を進めている。また外来におけるカルテ共有も先進的な取り組みであり引き続きこれを発展させていただきたい。

以下について講評及び意見とする。

1. 監査結果報告書の形式については、監査結果を箇条書きに終わらせるのではなく、病院側の説明を、経過を含めて記載していただきたい。
2. 患者参加型医療推進に向けたアンケートについては、集計結果をまとめるとともに、患者ご意見箱やカルテ共有の利用者数についても数字とし適時把握していただきたい。
3. 医療業務安全管理委員会については、その議事録から丁寧な議論が毎月行われて、改善すべき点を現場にフィードバックしていることを確認した。組織の記憶として残る活動であり高く評価できる。他方、多忙な現場において委員会からの指摘事項に対し、十分に実現されていないこともあり、今後は委員会決定を現場で実現できるように、さらに現場との調整などを図り実現に向けた工夫をされたい。
4. 医療 DX については、大量の説明文書の作成やインフォームドコンセント取得に際して、AI の利用などに工夫が見られた。引続き医療者が緻密に関わりながら現場での AI 等の有効利用を続けて欲しい。
5. 高齢化社会の中では手術適応については慎重な検討が必要となってくる。また刻々と状況が変化する手術中に、術式変更が必要な場合など当初の説明を超える様な状況になった場合には、適宜に患者家族とコミュニケーションをとることを工夫されたい。
6. ロンドンプロトコル 2024 の翻訳は、本学ならではのユニークな取り組みであり、さらなる発展を期待したい。

以 上